

事例番号:270150

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第六部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

1 回経産婦

2) 今回の妊娠経過

全前置胎盤のため妊娠 26 週以降入院管理

3) 分娩のための入院時の状況

入院管理中

4) 分娩経過

妊娠 30 週 5 日

14:02 分娩監視装置装着

14:40 分娩監視装置アラーム発生

14:53 [助産師]胎児心拍聴取できず、子宮収縮なし、腹壁緊満なし

15:10 [医師]超音波断層法実施、胎児心拍数 50 拍/分台、胎児心拍回復傾向
になく、さらに徐脈傾向、胎盤周囲に常位胎盤早期剥離所見認めず
帝王切開決定

15:27 胎児心拍数 190 拍/分台

15:46 手術開始

15:47 児娩出、臍帯巻絡足に 5 回

15:50 胎盤娩出、胎盤スムーズに娩出されたが一部胎盤遺残あり、胎盤剥離面
の出血部位を結紮、圧迫止血を試みたが、出血コントロールつかず、子宮摘
出術実施

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:30 週 5 日

- (2) 出生時体重:1462g
- (3) 臍帯動脈血ガス分析値:pH 7.164、PCO₂ 51.3mmHg、PO₂ 30.2mmHg、
HCO₃⁻ 17.7mmol/L、BE -11.2mmol/L
- (4) Apgarスコア:生後1分5点、生後5分8点、生後10分8点
- (5) 新生児蘇生:人工呼吸(バッグ・マスク)、気管挿管
- (6) 診断等:

生後3日 腸管穿孔と診断、穿孔部位の閉鎖術

生後5日 腹腔内出血に対し開腹止血術2回施行、脾臓摘出

頭部超音波断層法:両側側脳室周囲の出血あり

生後8日 頭部超音波断層法:出血が脳室内に穿破

- (7) 頭部画像所見:

生後28日 頭部CT:両側の頭頂葉から後頭葉の白質に低濃度化と出血がみられ少量ながら両側脳室内にも穿破しているようにみえる

生後2ヶ月 頭部CT:嚢胞性PVL(脳室周囲白質軟化症)をきたしている

6) 診療体制等に関する情報

- (1) 診療区分:病院
- (2) 関わった医療スタッフの数
医師:産科医4名、小児科医3名、麻酔科医3名
看護スタッフ:助産師2名

2. 脳性麻痺発症の原因

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、脳室周囲出血を伴った脳室周囲白質軟化症(PVL)を発症したことであると考ええる。
- (2) 脳室周囲出血を伴った脳室周囲白質軟化症(PVL)発症の原因は、在胎週数30週の早産による未熟性に加えて、分娩経過中に生じた軽度胎児低酸素・酸血症と、生後に発症した動脈管開存症および消化管穿孔・腹腔内出血の発症が複合的に関与したものと考える。
- (3) 胎児低酸素・酸血症の原因は、臍帯圧迫による臍帯血流障害の可能性が高いと考えられ、妊娠30週5日の14時38分以降に起きたものと考ええる。

3. 臨床経過に関する医学的評価

1) 妊娠経過

全前置胎盤のため入院管理としたことを含め妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

- (1) 妊娠 30 週 5 日 14 時からの分娩監視装置装着において 14 時 45 分に胎児心拍数異常の可能性を覚知した後、胎児徐脈を確認するまで 20 分を要しており一般的ではないという意見と、臨床の現場ではこれくらいの時間を要するのは一般的であるという意見の両論がある。
- (2) 医師が超音波断層法で胎児徐脈を確認後、速やかに急速遂娩を決定したこと、分娩監視装置で再度胎児心拍数を確認し緊急帝王切開を遂行したことは医学的妥当性がある。
- (3) 臍帯動脈血ガス分析を行ったことは一般的である。
- (4) 胎盤病理組織学検査を行ったことは適確である。

3) 新生児経過

新生児蘇生は一般的である。

4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

- (1) 妊娠 30 週未満の NST(ノンストレス)においては、胎動に伴い胎児心拍の記録ができなくなることはしばしば経験されるが、できるだけ明瞭な記録で正確に評価できるように努力することが望まれる。また、胎児心拍数聴取が困難な場合は速やかに上席のスタッフもしくは医師による確認ができるように、スタッフ間での円滑な連携が望まれる。
- (2) 妊産婦・家族の意見からは、当該分娩機関の対応に対する不信・不満があると思われるので、早期に対話の機会を設け、十分な説明を行う体制を整えることが望まれる。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

- (1) 学会・職能団体に対して

なし。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。